■強く■正しく■明るく■清く　　～夢いっぱい　笑顔いっぱい　希望あふれる柏っ子～

♦学校だより♦

開校　大正9(1920)年

Obihiro Kashiwa Elementary School

かしわ

帯広市立柏小学校

保護者・地域との
より強い 絆 をめざして

令和7年2月18日 29号

＜令和６年度 後期学校評価について ＞

日々の教育活動や学校運営を客観的に振り返り、よりよい学校づくりを目指すことを目的として、児童・保護者・教職員の3者を対象に学校評価を実施しました。後期は前期と比べ、回収率が１６．９％上昇しました。

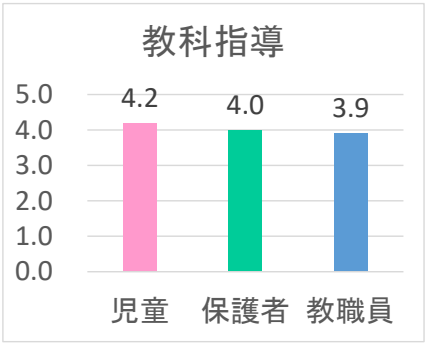
今回の結果は、下記のようになりました。児童の自己肯定感の高さや保護者の皆様の肯定的なとらえ方、教職員の更に高みを目指す姿がうかがえる項目がありました。

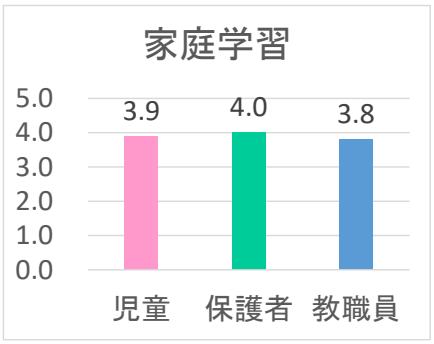
保護者の皆様の貴重なご意見を参考として、子どもたちが意欲的に学校生活を送り、安心して過ごすために、「チーム柏」として学校力向上を目指します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

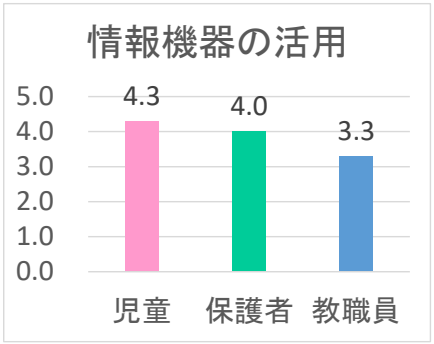
令和6年度　後期学校評価および保護者・児童アンケート

保護者回収率：65．1％

知・心・体の充実



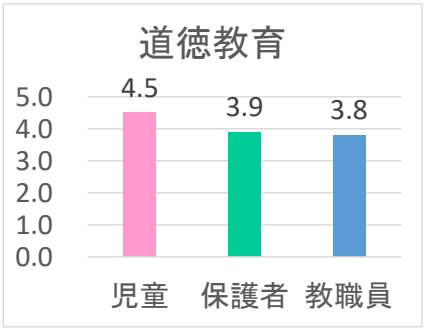


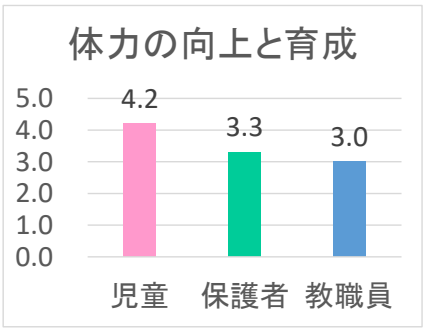


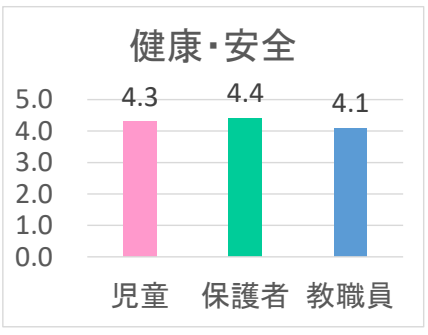
「わかった」「できた」が実感でき、「やってみよう」の意欲が高まる授業づくり（教科指導）については、児童のポイントが前期に比べ上昇しました。学ぶ意欲を高め、児童が自ら学び方を選択したり、学んだことを活かして表現したりする力を伸ばしていけるよう教職員も研修を重ねていきます。

学校では、電子図書を読んだり、デジタルドリルに取り組んだり、教育支援ソフトで学習をまとめたりするなど、タブレットの活用を進めています。これからの社会状況を鑑みたときに、紙媒体のよさを理解しつつ、情報機器を使う力を身に付ける必要があると考えています。

柏小の学習規律としてまとめられている「柏スタンダード」をもとに、発達段階に応じてタブレットの使用のルールやより効果的な使い方について、これまで以上に子どもたちと確認しながら、学習内容の定着と学力向上のための活動を進めていきます。





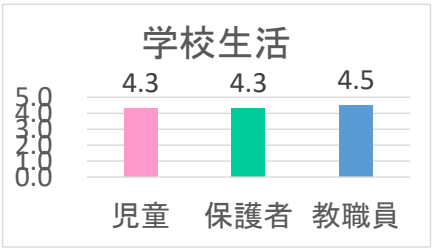


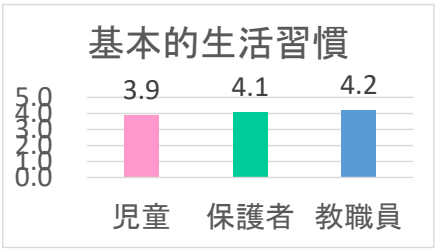
道徳教育については、児童の肯定感が前期と同様に高くなりました。学校生活の様々な場面を通して、いじめを絶対にしない、してはいけないと思う児童が一人でも増えるよう今後も指導を続けていきます。また、自分だけでなく、友達のよいところがわかり、自他ともに大切にする児童を育んでいきます。

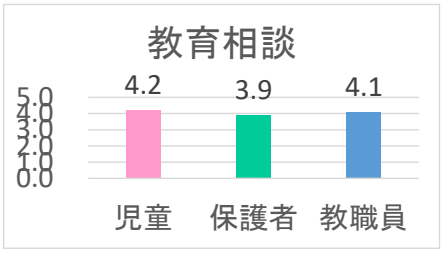
体力向上と育成及び健康・安全については、健康な心身を育て、一人一人が自分で命を守る判断力の育成を目指しています。近年は、年間を通して各種感染症の対策をとっており、うがい・手洗いの励行と咳エチケットを呼び掛けています。

さらに、自然環境や不審者、Jアラートなどを考慮した避難訓練や集団下校訓練なども含め、危機意識を高めるとともに、自分や他人の命を守ることの大切さについて今後も伝えていきます。

安心・安全・健康ー地域と共にある学校



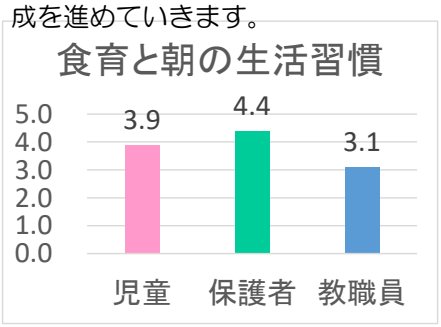


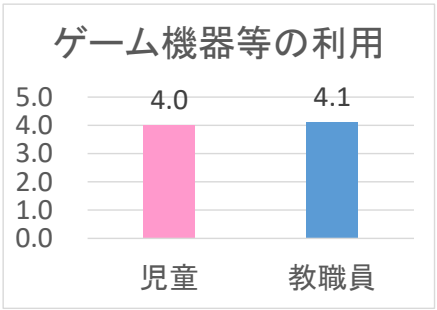


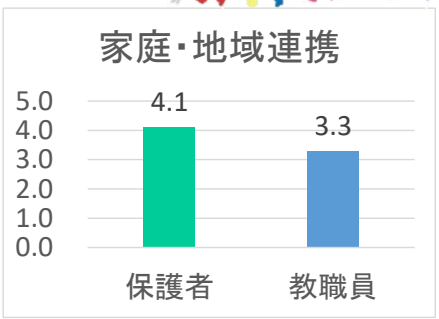
「学校で楽しく過ごしている」と回答した児童が多い反面、挨拶や廊下歩行、時間を守るなど基本的な生活習慣を意識している児童が少ない傾向が見られました。

学校は、学力や体力を高めるだけではなく、集団生活を通して社会性を身に付けるところでもあります。自分も周りの人たちも楽しく和やかな時間を過ごすためには、共通のルールや約束を守ることが大切だと考えます。現在、児童会活動として挨拶運動に取り組んでいます。私たち教職員も、児童が楽しく安心して生活できる学校であるよう一緒に活動していきます。

教育相談については、児童や保護者の皆様のために教育相談の体制整備に努め、雰囲気の醸成を進めていきます。







前期に引き続き、食育と朝の生活習慣に３者の認識の違いが見られました。家庭でのゲーム機器等の使用は、子どもたち自身が約束を守ろうとする様子がうかがわれます。これからも、「早寝・早起き・朝ご飯」という朝の生活習慣の定着を進め、子どもたちの健やかな成長を促すために、継続して学校と家庭の両輪で生活リズムを整えることの大切さについて言葉掛けをしていきたいと思います。

今年度は、運動会や学習発表会、参観日をはじめとした学校行事やボランティアによるPTA活動が活発に行われました。その都度、保護者や地域の皆様には学校へ足を運んでいただき、子どもたちの様子をご覧いただきました。ありがとうございました。今後も学校と家庭・地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを目指していきます。

保護者の声

◆学校だよりや学年・学級通信などの配信について◆

前年度3学期より先行実施し、２学期から本格的にGoogleクラスルームや楽メなどを通して、各種通信を配信しています。保護者の皆様からは「自分のタイミングで確実に見ることができるようになった」「写真や動画などがきれいに見える」と肯定的なご意見とともに、「文字の大きさや配信時間を考慮してほしい」「配信のメリットを認めつつも紙媒体を希望する」というご意見もいただきました。

緊急時の配信以外は、お昼頃や夕方など保護者の皆様が確認しやすい時間帯に配信しています。今後も配信の仕方などでさらに工夫できることは、迅速に対応していきたいと考えています。

◆タブレット端末の使用の仕方、持ち帰りについて◆

今の子どもたちが確実に将来使いこなす様々な電子端末、学校現場では一人１台端末としてタブレット端末を使用しています。

学校では、書く活動を大切にしつつ、タブレットの使用のルールや発達段階をもとに指導の系統表を作っています。授業中に電子図書を読んだり、デジタルドリルなどに取り組んだり、写真や動画撮影を生かしたりしながら適宜活用しています。家庭においても学びのツールとしてぜひ積極的に活用してほしいと思っています。持ち帰りについては、学校として意義を再確認し、共通理解を図った上で検討します。

◆学校生活全般について◆

多くの保護者の皆様から日々の教育活動や学校運営について肯定的なご意見をいただきました。大きな励みとなりました。よりよい学校づくりに向けて保護者の皆様からいただいた様々なご意見を参考に、できることから丁寧に取り組みたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長を促すためには、今後も継続して学校と家庭・地域が連携・協働することが求められています。

学校としては今後も教育活動の成果を子どもの姿で表し、体現したいと思います。

今後とも、ご理解・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。